いわき民報
社　登　原　田　一
印刷人　いわき民報社
発行所　平市田町48　電話381・176

小額月賦販賣
ツガミミシン
ミシートミシン
コクサイミシン
代理店
鈴木ミシン商會
平市白銀町電一〇九八

目標額十万圓を突破

平市の共同募金好成績

平市の共同募金は二十日目標額を十万円突破し六十五万二千三百九十六円六十六銭となった、この中街頭募金は目標額五万円に對して二十二万五千円、興行募金は十万円に對して十万九千円とそれぞれ超過して居り戸別募金は四十万円の目標に對して三十一万七千円で今少しと言うところ市社會課に届出た十七日以後の町内戸別募金左の通り（カッコ内目標額）

△十七日、五丁目一万千二百円（一万千百十八円）鎌紺屋町等十二町内である

なお二十日現在未納は南町、田一万七千八百六十円（一万六千三百三十五円）△十八日、堤ノ内六千六百五十円（六千六百五十一）円△十九日、才づち小路一万九千四百八十円（一万六千三百九十九円）仲間一万五千五百四十二円（一万五千百六十円）△二十日田町二万三千九百六十五円（二万三千四百五十円）古研一万三千百円（一万二千五百二十円）

△東京都葛飾區鎌倉町無職稻島幾子（六八）米三斗所持△宮城縣亘理郡吉田村職人飯塚酉造（四一）米一斗五升所持△内郷町宮濱古着屋河野ハツ（三七）大豆二斗を所持

郡下も目標額を超過

石城郡下の共同募金は十九日調で調査した處によると二十日夕刻までには金山村が完遂目標額一百四十五万五千円を五千五十円超過していることが判った

教子の奉仕で一家再興

上遠野村に咲いた感激美談

去る四月一日丸焼けになった上遠野村の酒醸造業櫛田爲氏（四八）さんは一家再興に奔走しているが、氏は以前小學校に教鞭を執ったことがある事務所に連絡があった、これで郡下の目標額達成は十カ町村となって居り、十九日民生

米五俵を押收

きのう列車を急襲

平鐵道公安所では十九日青森發上野行き二二列車（宮岡一食管法違反で平市署に引渡した

民報論壇

組合警察を組織せよ

田原登

自治警察制度布かれて玆に二年有餘を過したが、警察力の低下を來し、同時に市町村の財政を紊亂したため各方面から自治警察返上の叫びがあげられた、結局今議會に警察法の改正案は上提されないことになり、現狀のままでやって行かなければならないことになった、これまでの自治警察を見ると警察力が個々に分斷されたため實際に警察力の低下を來していることが最も目を惹いた、あのいまましい平事件の如きもこの虚につけ込んだもので、若しも旺盛な實力があれば彼等ばあんな事件を惹起しなかつたかも知れない、警察力強化の必要が叫ばれるゆえんである、然るに自治警の定員は增加することが出來ないし、警察力の低下をカバーするには民間の力を藉りるか、或は又警察組合を新設して強化することが必要である、縣下においては飯坂と湯野が早くもこれに氣づいて警察組合を造り能率をあげていると云はれるいわき地方においては更に斯うした考慮が拂われず今日に至っているが、平市の場合は內郷、湯本の三署で組合を造り、郡南においては植田と錦ケ丘では小名濱、江名が夫々組合を組織することが効果を齎らすと思う、平、內郷、湯本は地域的に一衣帶水と云つた最も關係の深い地域で平で犯罪が發生するや犯人は內郷湯本に遁走することがなかく多い、縣が現在の機構に於いては此の場合平市署から內郷や湯本町署に逮捕方の依頼をするだけで此の兩署には責任がないから犯人の逮捕はどうしても積極性を缺くと云う現狀である平から犯人を追跡して行っても他警管內には五百米突しか追跡出來ないことになっているので犯人には都合のよい機構になっている斯うした現狀のなかに在って警察能力が衆がらないと不平を並べることが無理である、若しもこの三つの自治警で組合を組織して一本にまとめるとすればその、警察力と云うものは平の場合は倍加し他の二署に於いては三倍乃至四倍の力を得る結果になるのである、現有警察官數は平五〇、內郷三七、湯本二五で合計百十二名となるわけで萬一の非常事態が發生した場合はこれだけの警察力を急速に動員し事態收拾に當らせることが出來るのである、第一の平事件はいつ又發生するか豫斷を許さぬであらう。

秋冬作付面積割當

三郡下關係者で協議

十三万九千貫△小名濱十七万三千貫△勿來十六万貫

配給もの

妊婦や幼兒にネル晒編糸

平市役所經濟課では二十日より五カ月以下の妊婦、八月以後の出生兒に對しネル、晒、手編糸の配給を行う、今回の割當はネル八百九十六枚、晒三千三百四十四枚、手編糸七百五十七封度

學童用の靴

平市役所經濟課では第二四半期分學童用として布革七百三十足、淺靴三百九十足、長靴百九十五足が割當になったので二十日と來月十日の二回に分け各小學校に割當する

菜野

縣主催指定特產地原生產計畫打合會は二十日午前十時より平市公會堂日本間に濱三郡下の關係市町村側が出席して開き特に野菜の不足する秋冬作付面積の割當並に指定消費地の集荷計畫などについて協議したが本郡關係は次の通りで昨年より幾分多くなっている

【指定產地生產計畫】

△秋冬作付面積、平四十町、泉十五町、夏井十八町、神谷五町計七十八町△春夏發芽時二十日作付面積（二十五年度分）平四十九町、泉十五町、夏井十三町、小名濱十八町、山田十五町、神谷二十五町計百四十五町

【第三四半期指定集荷計畫】

△平三十九万二千貫△內郷三十四万六千貫△湯本二十三万七千貫△勿來十六万貫

學生の盜み

平市古殿治第一高校生渡邊某（一八）は澤渡村下市萱農佐藤某（一九）とお謀、去年十二月平市揚土第一中小使柴田三郎（三八）さん方から長靴（千二百円相當）本年三月ころ古鐵治無職佐竹道子（二八）さん方から赤革靴一足（千五百円相當）澤渡村下市萱農佐藤又比古（二〇）さん方からマフラー（四百円相當）をぬすみ市內の古物商に賣却したこと判明十二日平市署に檢擧二十日書類送檢された

天気予報

十二日【今晩】北西の風良い天氣だが夜更けてから冷込む【明日】北西の風前のうち、かなり寒いが日中は一時南の風となり、割合暖かな良い天氣、海上沖合は今明日風波が高いから船舶は充分注意を要する

出火御詫御禮

昨十九日十七時十分頃當建物三階東面壁間より發火消防署の出動により直に消火大事に至らず濟みましたお騒がせいたし誠に相濟みません

謹んでお詫申上げます

混雜中に付御駐付下さいました皆様の御尊名も判明せず勝手乍らこの廣告を以て厚く御禮申上ます

十月二十日　平市四丁目　マルトモ食堂　柴田春雄　マルトモ書店　柴田德二

近火御見舞御禮

平市三丁目中央通り　菊一靴店　電四四六

佐々木双物店　電一〇六八

研美院　自宅電六三八

星野時計店　電三九九

久野食品店　電一〇六八

好澤屋食料品店　電五六八

岡萬年筆店

上原時計店

江尻ゴム靴店

高根澤印房店

廣川果物店　電七四三

近火御見舞御禮

平市四丁目中央通り　三井百貨店　電三八・二八四

平澤鹽業商會　平市三丁目角　電二二・七一五

百貨店　平市四丁目

唯一商店　平市四丁目電四五

盛館　平市田町中央通　電一三七

パール　平市田町中央通　電六六六

操本　平市田町中央通　電一九六

松乃鮨司　松乃鮨會

伊勢屋旅館　阿部商店

鈴木喜勇佐商店　平市田町

近火御見舞御禮

平市四丁目中央通り　東邦銀行平支店　電一〇八・三〇八・一二一四

近火御見舞御禮

佐藤鐵工所　販賣部　平市四丁目電七三二

乘馬練習會

廿二日に

いわき乘馬クラブでは來る二十二日午前八時より平市飯野八幡神社境內で第一回練習會を行う（雨天の際は若松會長の馬事講話）

衣類を盜まる

植田町台町無職佃中ミヨ子（二三）方では十九日夜室に入られ衣類二十點時價五万円相當を盜まれた

マルトモビルの小火

原因は漏電、損害約廿萬圓

正本某（一六）の兩名は十九日夕同字の煙草、家具商助川ヒデ子（三九）さん方に宿泊に入りビース四個、現金一百九十円を盜んだことが判り二十日勿來町署に捕まった

販賣店各位にお知らせ

當商會はこのたび

東北振興ゴム株式會社

自轉車タイヤ販賣代理店に指定されましたが、販賣店各位の御協力を御願いします

平市新川町

千葉タイヤー商會

電話七八番

義太夫鑑賞の夕

十月二十二日【土】午後六時半
二十三日【日】午後六時半

於公會堂日本間◇…雨天にても開催します

入場無料

平市義太夫喜樂會

生活の改善葬儀の簡素

一、葬儀料
（イ）靈柩自動車祭檀五段十一品付、蓮花及納棺用品一切（棺合使用も同價格）
一金參千圓也
（ロ）靈柩自動車祭檀三段、蓮花及納棺用品一切（棺合使用も同價格）
一金貳千五百圓也
（ハ）靈柩自動車及納棺用品一切
一金壹千九百圓也
一、（イ）遺花一切損料貸し致します
（ロ）他に衞生消毒もお引受致します
二、資困者の方は特に御相談に應じます。遠近にかかわらず出張致します
◇…是非當店を御利用下さい

平市四丁目局通り
葬儀一切請負
造花 佛具商
山光堂葬儀社
（電話五五〇番）

巡廻文庫貸本御開業の好機

讀みごたえのある小說 隨筆 漫畫が千圓で結構三十冊は揃う店

定價の半額以下の

特價本賣店

市營グラウンド前（縣社隣）

オリエンタルダンスホール創立一週年記念

祝賀

大パーティー

10月26日夜6時—11時

專屬ツーバンド出演

レコード

平市ネギ町 電987

生活と文化

五浦の秋

何鳴生

磐城文化協會は毎月十六日が例會であつて協議事項があろうがなかろうが必ず集まることとなつている、たまには五、六人ほどの小會合であることもあるが、大概十二、三名、多いときは三十名内がいのこともある、九月の例會には文協發足當初からの有力なスタフの一人であつた松村さんがソ聯から引揚げて來られたので歡迎會を兼ねて同氏からソ聯の事情を詳細に開く機會を與えられたのであつた、一先づ話が濟んだあとで事務局から提案でオールメンバーでピクニックをしようではないかということとなり、話題にのぼつたは、筑波山と夏井川溪谷と五浦と三つ、日歸りの旅という條件では筑波は少し無理であろうし、川前は紅葉には少し早い、結局五浦行ときまつたのである 文協と言えどもいづこも同じくお多分にもれず、先づ金のかからないことも重要な條件の一つであるのだ。而もただ歩くだけではつまらないから何かよい思い出の種にでもなるようなものが望ましいのである。つまりは筆者が責任をもつて一切の企劃に當ることになつてしまつたのである。行路は勿來から關あと、九面平かたを經て五浦へ、そして關本へ出て歸ること五浦では松本德一さんの紹介で酒井三良畫伯を大觀の別荘にお尋ねすることとなつた

九日は早朝から曇天、ちよつとは降られる覺悟で出かける、一行は會長の山森先生、裁判所長の志村さん、一中校長の中島先生、內木ドクトルと高瀬畫伯、事務局の椎名御夫妻、それに筆者と子ども三人、都合十一名である、勿來の驛から關あとまでの道路は筆者には始めての新道であるが相當よく出來ている、ゆるやかな登りではあるが松や雜木の中をゆく快適なコースである、關あとは昔日とは大部變つてよく整理されている、茶店もあれば休息所の設けもある、萩は殆んど散つてわづかに咲き殘つているのもある芝も尾花となつて秋は漸く深い、海洋の眺望は絕佳である大敷網であろうか、船がいくつところに並んで浮んでいるのも見えた。霧雨が降りはじめたので徒に懷古趣味に時を移すこともゆるされず山を下つて國道に出る、狹沿には案山子が一つ、一行を見送つて吳れた。

鷗魚犬にひろごり萩咲けり

これは筆者の師事した秋櫻子先生の勿來へ遊ばれた折の作句であるが、季節は今から少し早い初秋の頃であつたろうと思われる、そのときの遠作の中にひぐらしを詠まれた句もあつたようであるから季節はやはり夏の終りであろう

九面から平潟へ、漁港は何となく活氣があつてよいものだ、岸壁で釣糸を垂れている人がいたので近ずいて魚籠の中をのぞくと小さい黑鯛が二三尾光つていた、ここでも少し降られみちを五浦へ急いだ途中造船所へ寄つて少憩、お茶の接待をうけた。

五浦に着いたのは十一時半ごろ、早速大觀別荘に酒井三良畫伯を尋ねる、松本さんのお話で心まちにしていられるのであろうか早速居室へとをされる、畫伯御夫婦のねんごろなおもてなしには心からられしかつた、畫伯は關西への御旅行のあとで、「お風邪でも召されたのであろうか少し御不快の御樣子であつたにもかかわらず、私たちのために約三時間の長いあいだ終始いろいろとお話をして下さつた事は誠に感謝に堪えない次第であつた。お宅は松に圍まれた海岸、それも絕壁の上に建てられた所謂數寄家づくり、環境は波音のほかは何の雜音のなく極めて閑靜、こうした閑寂の境地にあつて構想を練られ畫心をほしいままにされていられるのである、庭園は悉く芝生、それはまだ枯色も見えず青青と小雨にぬれている、庭の隅には一むらの小竹、芝や吾亦紅もさすがに秋を思わせるものがあつた、奥樣からは庭山から初たけが澤山とれたことや水戸の民政部の方方が來られた折のお話やらがあつて心にあたたかきものをあたかに感じさせられたことであつた。殊に感銘深く展らんさせて頂いたのは畫伯の恩師小川芋錢子先生の作品の數數である、幅物、畫帳、短册などいちいちとり出されて說明を加えられた、綺麗の鑑賞には全くの素人であるわれわれにも、ほのかにそのよさをおぼえたのであつた。畫伯は俳句、作家でもあられるのでいろんな人人の句の短册も集められている、玉堂とか綺堂とか芥川龍之介のようなめずらしいものもあるとにかく非常に多いので僅かの時間では到底かん賞をほしいままにすることは出來ない、汽車の時間もあるので心をひかれつつ辭して歸路についたのであつたが、御夫妻がわざわざ途中までお見送下され、天心の酉盧や天角堂などの御案內までうけたのは誠に恐縮の至りである。われわれは先生御一家の御幸福と畫業への御精進とを切に祈るものである。

關本驛までの行程相當降られて、存分にぬれてしまつたのであるが、それもこれもたのしい思い出の一つ一つとなることであろう。

（十、十五）

作付百九十町歩

廿町歩增、來年度の煙草耕作

專賣公社平出張所管內の來年度煙草耕作面積町村別割當その他を決める煙草耕作組合長會議は十八日午前十時から同出張所會議室で開かれ本年度の實質的耕作面積に對し二十町歩の增加（當初割當面積に對しては十町歩減）を見た來年度の管內割當百九十町歩を次の通り各町村に割當てその他本年度の煙草收納代金支拂方法收納代金の貯蓄方法を決定同午後二時終了した

△町村別割當（單位町步）

平（一）好間（三）內鄉（四）神谷（一）草野（四）鹽間（一）夏井（一）大浦（三）大野（十）高久（六）飯野（二）鹿島（八）四倉（二）上小川（八）下小川（七）赤井（十）泉（八）磐崎（十一）小名濱（三）渡邊（三）江名（一）稲田（五）山田（三）勿來（三）田人（十八）川部（三）上遠野（十六）入遠野（二十二）永戸澤渡（十八）

△收納代金支拂方法—現金窓口拂

△貯蓄方法—農業協同組合が耕作者の代理として代金を受取りその中から縣連合會で決定した貯蓄率一割に相當する金額を差引いた殘額を耕作者に手渡す

なお本年度收納期間は十

國勢調査で統計主任會

廿五日開く

石城地方事務所では來年度實施の國勢調査の正確な基本となる調査區の設定と地圖の作成を十一月一日現在行うが、これらの調査區はこん後の各種調査等にも統一して利用出來る永存的なものとするため二十五日午前九時から會議室に管內町村の統計主任を集めてこれら調査區の設定について打合せる

市內中小校研究協議會

廿五日開く

平市內小中學校研究協議會は二十五日午後一時から平一小に各校長、敎務主任が集つて開く

國語教育研究協議會

廿二、三日

平、石城中學校國語教育研究協議會は二十二、三の兩日午前八時から平一中で開き授業を中心とした國語科における單元構成とその展開、文法の取扱い、基礎學習の指導等につき協議する

苦情處理委

廿五日選出

平驛連區分會委員會は二十五日午ぜん十時三十分から平鐵道クラブに開き驛連協の苦情處理委員の選出を行う

種子馬鈴薯入荷は順調

縣販連石城支部では郡下各町村の希望により北海道から種子馬鈴薯五千七百二十七俵を取寄中だつたがこの五日から入荷始め四千俵が配給濟み、殘り千七百十七俵も今月中には到着する見込みで種子馬鈴薯の入荷は順調、なお昨年は九千俵だつたが作付面積が減つたため數量も少くなつた

優勝を期し合宿練習

廿二、三日縣代表の庭球選手

三十日から四日間東京後樂園で開かれる第四回國民体育大會軟式庭球に縣代表として次の選手が決定したが縣軟式庭球連盟では優勝をめざして二十二、三の兩日平市松ヶ岡公園コートで軟式庭球選手强化合宿練習を行うことになつた

參加選手次の通り

◇男子高校　渡邊忠一、北條哲雄（磐高）稀狩克巳、林弘一（相農）岡田敏正、中島利男（磐高）

◇女子高校　大橋せき子、田谷陸子（磐女）高橋久美子、黑澤尙（福女）

◇女子一般　渡邊コト（平商）松本千代（安女）千葉ハツノ（內鄉高）大門セイ（磐女）

◇男子一般　宮川登（吳羽）齊藤義男（平クラブ）鈴木彥之、篠原英任（平クラブ）小川孚、志賀金七郎（平クラブ）

◇壯年　國部發雄、奧津昌（平クラブ）長尾登、關口俊毅（吳羽）

なお監督は男子部鴻ノ池正順女子部小川孚の兩氏である

義太夫觀賞の夕

22・3日公會堂で

平義太夫島樂會では來る二十二、三の兩日夜六時半より平市公會堂日本間で「義太夫かん賞の夕」を催す、入場無料語物左の通り三味は竹本喜美太夫

【初日】御祝儀、揚屋、日吉丸、寺小屋、御殿、太十、沼津、玉三、合邦

【二日目】御祝儀、玉三、鳴戸、太十、十種香、妹脊、日吉丸、酒屋、安達

前賣券販賣店

二十三日「のど自慢大會」

前賣券は左記十一店で販賣される

平無線、佐藤無線、田村無線、日本商會、古山電氣、鈴木ラジオ、富永ラジオ、酒井ラジオ、長谷川ラジオ（三井百貨店內）木田無線、三光電氣、本社

衛生管理者試驗

本年度第二回衛生管理者試驗は十一月二十日福島市宮町福島成けい女子高等學校で開催するなお受驗申請者は全署に六日まで願書を提出すれば良い、試驗實施要領はぜん回と全じ

小川と神谷も蛔虫檢査

平保健所ではさきに小名濱小學校の蛔虫檢査で殆んどの生徒が蛔虫の持主であることが判り關係者を吃驚させたが同所では更に二十日小川村小學校兒童七百名、二十六日神谷村小學校兒童八百名の蛔虫檢査を實施することになつた

人口動態

九月中の

石城郡の九月中における人口動態は現在人口三十二万五千六百八名に付き出生一千四十七名、死亡二百四十五名、死産七十四名、婚姻一百五十三名、離婚二十三名で昨年の同期と比較すると死亡、死産が僅かに增えている程度でその他はかえつて減つている狀況にある、死産が增えて來た原因は優生保護法による人口妊娠中絶の利用が多くなつて來たものであると同所では語つている

日本刀所持の土工檢擧

湯本町署では八日午後一時頃同町植田地區署から指名手配を受けた湯本町大字水ノ谷字龍ノ尾土工飯場植田文治方土工中村榮太郎（二五）を逮捕植田地區署に引渡した、同人は日本刀を所持して居り銃砲等所持禁止令違反の疑いに依るものであるが湯本に來るまえ田人村で働いていたこともあり不良仲までであつた所から漸く迷宮入りを傳えられる山田の殺人事件に或いは有力な參考事項を與えるのではないかとも見られている

三名で家出

平で捕まる

小名濱町松の中船員金澤末吉（一〇）同町大原材木商二宮二男（一〇）同町明神町無職衛谷康江（一九）—假名—の三名は十九日午ぜん三時頃突然家出し今朝五時頃仙台行き二一三列車で平驛に立寄つたところ保護者からの依頼で平鐵道公安官に捕まり親元に引渡された家出の理由は岩手縣渡波に遊びにゆこうとしたもの

捕物實話 怪盜小松三治（二）

喜久地寒

囃娘のハナ（二五）チャンという女中を相手に、溫泉旅館昭和館を經營している島田艶（四五）さんといえば、町の與太者も、お艶ねえさんと呼んで、一目置くほどのガッチリした、ぁね御肌の女丈夫であつた。

「泥棒なんか入つてみやがれとつちめてやるから。」

と常常口にしていたそのお艶さんの家に十二月に入つて間もない或る夜、泥棒が入つて二階座敷を次次と荒して歸り駄賃に調理場から、酒一升に冷藏庫を開けて、酒の肴まで持つて出て行つた。お艶さんはカンカンに怒つた。

「旦那チョイト聞いて下さいよ、一番と、二番のお客が目を醒して誰だ？」て、咎めたつていうんです。ところが憎いじやありませんか「お客さん火鉢の火を注意して下さいよ」て、まるで番頭の振りをして、注意してから、その足で次次と座敷に入つて荒して行つたつていうんでしよ。それから牡丹の間にお客がお便所から出てくると、階段の上り口に變な奴がいたというんです。その奴が泥棒だつたんですねえところがその泥棒の奴「お客さん近頃物騷ですからまどの戸締をたのみますよ」と注意して、調理場の方に靜かに歩いて行つたというんですよ。酒と肴は、それかららしいですね。本當に憎いじやないの——

それがね、妾しや一寸も知らずに朝まで寢込んでいたんですよ、口惜いつたらありやしないわ。一体お客さんも間が抜けていたんですね—旦那この泥棒だけは、なんでかんで捕えて下さいよ」

お艶さんが、その翌晩、被害調べに來た駐在の旦那に、大事なお客の間の抜けていたことまで、話して口惜がつていた。

丁度その頃であつた。壁一重のお艶さんの寢室六疊間に怪盜が忍入つて、簞笥の抽斗から商賣の賣上金八百余円を盜んで行つてしまつた。

調べてみると、お艶さんと駐在の旦那の對話を聞きながらの、犯行のように思われた流石に氣の强いお艶さんも、これを知つてゾッとしてしまつた。

正月になつて、亦々怪盜がお艶さんのところを狙つたが囃娘花ちやんに發見されて、一物も得ず退却して行つた昭和館前の、菊屋旅館にも電柱をよぢ上つて、二階座敷に忍び入つた。

この泥棒余程高い處が好きとみえて、電柱や、屋根傳いに湯本町の溫泉旅館をかたつぱしから荒して行つた。

本場自慢 牛豚肉
初秋…榮養補給ハ是非當店ノ肉デ！
親切本位 綠屋肉店
平驛前 電七九四 ナナクシ

松崎眼科醫院
內鄉第二イワキ隣
電話（綴）一二番

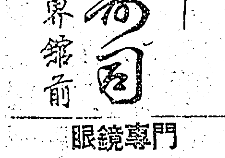
皆樣の藥局
武田藥局
藥劑師 武田三郎
平市聚樂館前

藥品一般
小野屋藥局
平郵便局隣
電一四四番

精工舍の時計
常盤屋時計店
平一（電三三九）

正確で安い時計は
誠光堂
平市銀座通
電九八八番

仕出し
江戸前 壽司
世界館前

眼鏡專門

各眼科醫指定
玉屋
平市二丁目（電910）

食中毒（じんましん）
秋は食慾を增す時期になりました 果物魚類による特異性體質の變化がありますから御注意下さい
有効中和藥を御利用下さい
平市田町銀座 電44
阿康 あこう藥局